

## 第6回委員会の主な検討内容

- 指導計画案を作成してみて、武蔵野市民科として取り上げやすい学習テーマと取り上げにくいものがあった。
- 武蔵野市民科の学習を進めていくにあたっては、直接人と会って関わっていく、地域のものにふれていくことが大切になるのではないか。その際に、自分の地域と全国の事例を比べるといったことも有効な方法だろう。
- 武蔵野市民科の学習は、地域コーディネーターや保護者、地域の方々に様々な協力を依頼することになるだろう。その際に、協力いただく方に、総合的な学習の時間として参加していただくのか、武蔵野市民科として参加していただくのか分かりやすくする必要がある。
- 持続可能な取組ということでは、教員が変わっても続けていけるような仕組みを考える必要がある。
- 総合的な学習の時間を中心として、まちのよさや特性を理解し、その中にある課題について目を向けさせる学習が必要ではないか。
- これまでの各学校の取組に市民性を育成するといったことのエッセンスを加えいくことも考えていきたい。